

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・今月は大変好調に推移しているものの、この流れがこのまま継続的に大きく上向いて行くのか今後の動向に注視しなければならない。今月の店頭動向をみると、少なくとも消費動向は改善に向かっていているものと判断できる。
	やや良くなる	その他専門店〔書籍〕（店長）	・ここ3か月では、あまり来客数の変化はみられなかったが、前年と比べると増加傾向にある。よってここから3か月はわずかながら期待が持てる。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・住宅展示場等への来場者数や、ホームページからの問い合わせ件数が増加傾向にある。例年同様に1月の来場者数等の増加が見込まれる。
	変わらない	スーパー（企画担当）	・競合の出店などで、厳しい環境に変わりはない。来客数の回復基調が本格的なものか、今後の推移を見守りたい。
		コンビニ（経営者）	・近隣にマンションが建てられているが、入居者が少ないため売上は期待できない。
		コンビニ（経営者）	・来客数アップの材料が見当たらない。
		コンビニ（エリア担当）	・たばこの値上げで売上は上げられても、たばこ以外の部分が落ちているため、利益の確保が前年並みになるかどうかの瀬戸際となる。今後は来客数を増やす対策、例えば新規部門の開拓などが無い限り、利益体制が厳しくなっていくと予想される。
		コンビニ（エリア担当）	・たばこ増税の影響は、今月でほとんど無くなり、販売高は前年同様となっている。来客数の推移からも、これ以上の景気の落ち込みは無い。
		衣料品専門店（経営者）	・客とのやり取りや行動からは、前年よりは購買意欲は感じない。客単価は前年より10%ほど下がっている状態である。
		通信会社（店長）	・12月に一時的なピークは来るだろうが、それ以後は落ち着きそうな気配である。景気が持ち直すような要因は今のところ無く、現在の状態がしばらく続くのではないかとみられる。
やや悪くなる	ゴルフ場（経営者）	・客観情勢から判断しても、さほど変わらないと推測する。特に良くなるという状況も見当たらないし、混迷の時期かという雰囲気がある。	
	やや悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・ただでさえ景気が悪化している状況であり、年末年始に向けて財布のひもがより固くなる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・新商品開発など魅力のある商品が無い。売上に結び付くイベント・商店街での通行客数、来客数が減っている。リピーターは多いが、お土産や新規の客の購入は減っている。
悪くなる	観光型ホテル（マーケティング担当）	・現在の予約受注状況や、最終的な稼働率の予測が前年を下回るとみられる。やはり強い円高傾向や羽田空港国際線乗り入れなど、旅行マーケットが全体的に海外へ向いていることや、年末年始の日並びの悪さなどが影響してか、かなり厳しい状況が見込まれる。	
	悪くなる	旅行代理店（代表取締役）	・選挙、朝鮮半島での武力衝突、政治的な影響で旅行需要はあまり伸びそうもない。
		商店街（代表者）	・中心商店街には観光客は少し戻りつつあるが、買い入れ単価が落ち込んでおり、全体的に大変厳しい状況である。地元客向けの商品の売上は外周部の大型店に取られ、街中の買回り品店は大変苦戦している。
		家電量販店（総務担当）	・エコポイント制度変更による反動が予想以上に来る。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・引き合い件数が増えてきている。
		通信業（営業担当）	・12月からの受注案件が増えている。仕事の引き合いも増えており、今後2、3か月は安定受注が可能になると予想する。
変わらない	輸送業（代表者）	・宮古地区の活気は当分持続し、久米島・八重山地区も現状より極端に大きな落ち込みは無いと見込む。	
	会計事務所（所長）	・客の節約志向は相当根強い。しばらくは外食を控える傾向が持続するとみている。	

	やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者） 輸送業（営業担当）	・公共工事の減少が見込まれる。 ・家電に限っては、エコポイント制度変更前の駆け込み需要の反動で、物量が大幅に減ると予想する。また、たばこの値上げによる影響で飲料や外食関連への物量減も若干ながら出てきている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・新規求職者の伸び率が一けた台であるのに対し、新規求人の伸び率が二けた台にて推移しており、マッチング次第では改善が見込める。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・現在派遣依頼は堅調にあるものの、契約期間終了の派遣先もでてくるので、全体の数字はさほど変わらないとみている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・最悪の状況は脱し、4月～6月ごろより徐々に回復してきたが、今後も引き続き回復基調かという点、まだまだ先行きは不透明である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・年末から2月に向けては求人数も減少していくので、景気が良くなるとは見込めない。
やや悪くなる	人材派遣会社（総務担当）	・ここに来て、派遣先からの受注案件が長期・短期とも止まっている。年末・年始にかけて様子をみているのか、企業の動きが鈍い。	
	悪くなる	-	-